

2017年 プログラム近況報告

Bangladesh フルバリア地域開発プログラム

ご支援によりフルバリア地域の子どもたちの
生活が改善しています

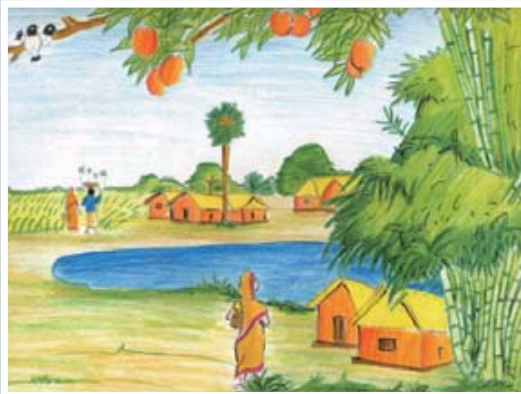


フルバリア地域開発プログラム マネージャー
ユヌス・シャングマ

フルバリア地域の子どもたちをご支援くださり、誠にありがとうございます。ご支援により、今年は保健サービスの質を向上させることができました。多くの子どもたちが病院で診察や治療を受けられるようになり、妊娠中の女性や授乳中の母親は産前産後のケアを受けられるようになりました。

一方で、まだ課題も残されています。私たちの地域開発活動の自立発展性を高めるためには、地域の人々の積極的な参加と当事者意識をより一層強めなければなりません。子どもたちと地域の人々のより良い生活のための、皆さまのご支援に今一度お礼申し上げます。

フルバリア地域での主な成果



チャイルドの絵「美しい国」(クーシ、15歳)

健康状態が改善しました

十分な栄養をとって成長する子どもが増えました。栄養状態の悪い2歳未満の子どもたち1,077人が、母親と一緒に12日間の栄養改善プログラムに参加しました。参加した母親たちは、地元で手に入る安価な食材で栄養のある食事を作る方法を学びました。今後この子どもたちの発育状態を確認するため、12カ月間成長モニタリングが行われます。

教育を受けました

幼い子どもたちが小学校入学に備えました。20の就学前教育センターで500人の子どもたちが、身体能力、感性、知性、社会性を育む教育を受け、小学校入学に備えました。就学前教育センターでは、子どもたちが歌や劇を通して学ぶだけでなく、保護者も子育てクラスで子どもたちの学びを支援する方法を学ぶことができます。

地域の人々の中で大切に保護されて成長しました

子どもたちが地域社会への関わりを強めています。12の村の子どもフォーラムと、その上位レベルの子どもフォーラム1カ所を通じて、約2,000人の子どもたちが、出生登録推進や早婚撤廃など、子どもの権利を守るために地域の人々に働きかけるプロジェクトに参加しています。また、子どもたちは文化的なお祝いの行事にも参加しています。

価値ある存在として尊重され愛情を受けました

多くの子どもたちが良い価値観や人間関係、将来の選択肢について学んでいます。640人の若者がライフ・スキル研修*に参加し、意思決定の方法や他者の気持ちを理解することの大切さを学びました。また、子どもの権利や基本的人権としての保健活動など、若者が希望を持って将来に備え、健全な生活を送るのに必要な事柄についても学びました。

*問題解決、対人関係、計画性など、生きていく上で必要な知識・技術についての研修



チャイルドの絵「畑仕事」(シヤラボニ、17歳)



チャイルドの絵「ベンガル人の新年のお祝い」(スクラ、15歳)

「幼い子どもたちにとってビタミンAが重要だということを、ワールド・ビジョンのスタッフが教えてくれました。今は、栄養不良のせいで子どもたちが失明したり病気になったりしないように気をつけています。」

アメナさん

(子育て中の保健ボランティア、写真左の緑のスカーフをかぶった女性)



「就学前教育センターで楽しく遊びながら学ぶことができ嬉
しいです。」

ラシドウル君
(4歳、左から2番目)

「教育プログラムに参加したこと
で、自制心を身につけることが
できました。ベストを尽くして社会
に貢献するにはどうしたら良いか
知りました。」

ジョヤちゃん (12歳、写真左の深
緑の服を着た女の子)

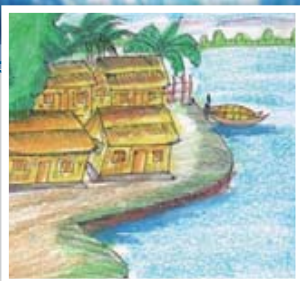


「私はミミズ養殖の研修を受けま
した。今ではミミズ堆肥を売っ
て、子どもたちを健康に育てるの
に十分な収入を得ています。」

パルールさん

(地域の母親、写真中央の赤いス
カーフをかぶった女性)





チャイルドの絵「村」
(ラニ、10歳)

くじけない ハリマさん

「夫の日雇い労働だけでは家族の生活費をまかなうことができず、以前は日々の食事にも事欠いていました。私たちにはアリフルという13歳の息子がいますが、息子に学校をやめてもらうことを考えるくらい、厳しい生活でした」とハリマさんは話します。

「そのような時、私はワールド・ビジョンが企画した服の仕立てを学ぶ90日間のコースに招かれ、参加しました。その後ミシンも提供してもらいました。鶏を売ったお金と小口の融資を受けて、私は小さな仕立て屋を始めました。

得た収入で数カ月後には借りたお金を完済することができました。これを見て、近所の人にも仕立てに興味を持つようになりました。私は仕事のない9人の女性に仕立てを教えました。そしてミシンを2台買い、女性2人を従業員として雇いました。息子は今も学校に通い、よく勉強しています。家族の健康状態も良好です。私は積極的になり、ワールド・ビジョンの様々な啓発活動や委員会に参加するようになりました。」



自分の仕立て屋で働くハリマさん（紫色のスカーフをかぶった女性）。貧困から脱し、より良い将来を得られるよう支援してもらったことに感謝しています。

背景に使われている絵を描いたチャイルド：ラニ、10歳

お問合せ先
特定非営利活動法人
ワールド・ビジョン・ジャパン
電話：03-5334-5351（平日9:30～17:00）
e-mail：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp

プログラム番号：BGD-185387

**Bangladesh Fullbaria Regional Development Program (BGD-185387)
 2016年度 (2015年10月1日-2016年9月30日)**

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)	
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	64,800,993	
前期からの繰越額	955,639	
プログラム支援額合計	65,756,632	
プログラム支出額		
子どもの生活環境改善プロジェクト <small>(栄養改善活動、収入向上・経済開発、障害児支援)</small>	50,361,628	●
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	15,391,031	●
プログラム支出額合計	65,752,659	
次期繰越額	3,973	

活動内容



子どもの生活環境改善プロジェクト

(栄養改善活動、収入向上・経済開発、障害児支援)



・母子保健や衛生教育



・5歳以下の子どもたちを対象にした健康診断の実施

・収入向上を目的とした農業・畜産・漁業についての研修

・貯蓄グループの設立・運営

・就学前教育センターの設立・運営、教師へのトレーニング

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

・手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流

・チャイルドの定期的なモニタリング

・「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

・「子どもフォーラム」の運営・強化